



## 6/3 地域おこし協力隊 辞令交付式 新たな地域の力

役場庁舎で地域おこし協力隊の辞令交付式が行われました。4月に辞令交付された3人に加えて、新たな地域おこし協力隊員として着任した長渕亮太さんに辞令書が交付されました。地域おこし協力隊制度は、地方自治体から委嘱を受け、地域で生活し、さまざまな地域協力活動を行っていく取り組みで、長渕さんは観光支援員として観光協会で柳原隊員とともにまちの観光業に携わります。



↑高橋町長（左）、長渕さん（右）

↓パークゴルフ大会の様子



## 6/19 こぐまクラブ交通安全教室 安全に道路を渡ろう

若草保育所に通う年長園児を対象とした青空交通安全教室が実施されました。園児たちは、雄武駐在所の青木俊晃さんから信号機の使い方と横断歩道の安全な渡り方について教えてもらいました。その後、保育所近くの道路まで移動して、車が来ていないか左右を確認し、大きく手を挙げて横断歩道を渡りました。参加した園児は「教えてもらったことを忘れずに交通ルールを守ります」と話していました。



↑実際に道路を渡る様子

↓イコカラサロンの様子



## 6/20 イコカラサロン 地域の憩いの場に

この日、地域活動支援センター「ココカラ」で、地域住民が気軽に集まって自由に交流できる場を作ることを目的とした地域のオープンスペース「イコカラサロン」を開催しました。今回は、茶話会形式で、職員と通所者が簡単なパソコンやスマートフォンの操作方法などを教えるプチ講座が行われました。「イコカラサロン」は毎月1回行われる予定ですので、ご興味のある人はココカラに問い合わせください。

## 5/31 雄武高校特産品開発プロジェクト 新しい雄武の魅力を形に

雄武高校では、2年生が授業で月に1、2回、卒業生から引き継いだ雄武町の特産品開発プロジェクトの新商品づくりに挑戦しています。

この日は、地場産品を使った加工品開発を行っている美幌町の合同会社「びほろ笑顔プロジェクト」の大友真佐美氏と美幌高校地域加工食品班の4人を招き、美幌高校での特産品開発の取り組みなどについてクイズ形式で紹介。その後、雄武高校生が構想中のメニューについて発表を行い、美幌高校生を交えて商品コンセプトや生産コストなどについてなどの意見交換を行いました。新商品は、秋頃を目途に試作品の完成を目指しています。



↑特産品開発のノウハウなどについて意見交換

## 6/1 「ホタテ」「乳製品」「しょう油」無料配布 旬の恵みをご家庭に

町民への日頃の感謝を込めて雄武漁業協同組合主催のホタテ貝の無料配布が今年も実施され、1世帯あたり約4kgのホタテ貝が自治会を通して配布。早朝から漁協施設で組合員や町職員などが水揚げされたばかりのホタテを手分けして袋詰めを行い、各自治会の代表者に渡されました。今年は、ホタテ貝のほかに昆布しょう油も添えられています。また、北才ホーツク農業協同組合からホタテと一緒に味わってもらおうと、バター2箱とスキムミルクが各家庭に併せて提供されました。町民からは「今年も新鮮なホタテがもらえて嬉しい。焼き床やシチューなどにして味わいたい」など喜びの声が聞かれました。



↑ホタテなどの配布の様子



↑陶芸教室の様子（左） 音楽に合わせて絵本を読む岸田典大氏（右）

## 6/21 図書館イベント 触って聴いて楽しい時間

2日は、おうむ陶芸工房の皆さんを講師に招き、たらと呼ばれる板状の土を使って好きな形の皿などを製作する「たら作り」の陶芸体験が開催。親子連れなど15人が参加し、子どもの手形などの模様を付けたお皿やオリジナルの猫型のお皿など、自分だけの特別なお皿を作りました。

16日は、日本でおそらくただ一人の絵本パフォーマー岸田典大氏によるオリジナル音楽に合わせて絵本を読み聞かせるパフォーマンスに、親子連れなど28人が楽しみました。音楽が合わせて臨場感溢れる新感覚のパフォーマンスに、子どもたちは笑顔を浮かべ「いつもとは違う読み聞かせで面白かった」と話してくれました。